

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-06-03
事務事業名	健康づくり推進協議会事業		
事業開始年度	平成17年～		
総合計画	大項目	基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	健やかで生き生きとしたまちづくり
	小項目	施策	健康づくり
	根拠法令・要綱等	健康増進法、食育基本法 備前市健康づくり推進協議会規則	
問合せ先	担当課(室)	保健課	
職・氏名	健康係長・白麗由美子		
電話	64-1820		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	健康づくり推進協議会委員、市民全員
目的(何のために)	市長の諮問機関として、市民の健康保持増進のために必要な対策を検討し、総合保健計画の立案と必要な施策推進を図る
行政活動(どのような方法で)	健康づくり推進協議会の開催 健康びぜん21中間評価・見直し、食育推進計画の策定
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	健康びぜん21、食育推進計画を策定し、それに基づく取り組みを積極的に推進する。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	会議開催回数		回	1	1	1
	直接事業費		千円	52	20	65
	人件費			425	505	1,136
	事業費計			477	525	1,201
	国県支出金		千円			
	受益者負担					
	市一般財源			477	525	1,201
	必要人員		人	0.05	0.05	0.17
	結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績
会議開催回数		説明				
結果指標量		人	1	1	1	
対前年比		%	-	100.0%	100.0%	
活動コスト		円	477,000	525,000	1,201,000	
結果指標	結果指標量		人			
	対前年比		%			
	活動コスト		円			
単位当たりコスト		円				

事業の成果			
成果指標名	健康びぜん21見直し・中間評価 食育推進計画の策定	式又は説明	平成20年度に見直し・中間評価、策定を実施
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比			
到達目標値	平成20年度に見直し・中間評価、策定を実施	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	A
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	市の健康づくり施策について審議する場である協議会の設置は、不可欠である。計画策定から4年が経過し、その間合併や制度改正等、社会状況が変化しており、計画の見直しをする必要が生じている。最終評価における成果に結びつけるためにも、実態調査や中間評価は必要不可欠な事務事業である。
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	課題認識	健康づくりや食育推進のためには、市による計画策定が最善の方法であり、代替手段はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	効率性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	健康づくりや食育推進のためには、市による計画策定が最善の方法であり、代替手段はない。
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
手	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	課題認識	健康づくりや食育推進のためには、市による計画策定が最善の方法であり、代替手段はない。
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は目標年度に達成できそうである		
	<input type="checkbox"/> 成果指標は目標年度に達成できそうである		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	課題認識	計画を総合的、効率的に推進するためにネットワークの構築が必要。策定作業を通じて、他関係機関と課題や目標を共有し、連携して取り組めるよう検討していく。
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	課題認識	計画を総合的、効率的に推進するためにネットワークの構築が必要。策定作業を通じて、他関係機関と課題や目標を共有し、連携して取り組めるよう検討していく。
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	課題認識	計画を総合的、効率的に推進するためにネットワークの構築が必要。策定作業を通じて、他関係機関と課題や目標を共有し、連携して取り組めるよう検討していく。
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		

平成20年度の状況		説明
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	健康びぜん21中間評価・見直し、食育推進計画を策定する。 ・市民1000人を対象に健康に関するアンケートを実施し、既存データと合わせて結果を分析し、実態把握と状況分析を行う。 ・健康づくり推進協議会を4回開催し、市の健康課題や計画の骨子案、素案等について審議する。
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 4回	結果指標量
成果指標量	平成20年度に見直し・中間評価、策定を実施	

総合評価		評価区分<A-E>	B
平成19年度は、健康びぜん21計画に沿った保健事業の進捗状況について説明し、意見交換を実施した。教育関係者や関係団体の代表者と協議して、計画の策定に取り組むことで、それぞれの責務と役割を明確にしながら、協働して健康づくりや食育を推進することができると考える。併せて、健康に関するアンケートや、組織育成、健康教育、相談の場において、意識的に市民の声を聞き、市民意見を反映した計画にする必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	広報紙や保健事業の場等を活用し、計画を市民に周知する。	平成21年度	市民の健康づくり意識の高揚
有効性	他関係機関と連携した取り組みを強化し、健康づくり支援体制の充実を図る。	平成21年度	計画の総合的、効果的な推進